



国際交流のひろば

留学生オリエンテーション

4月13日(金)12時から人104において、4月入学の留学生を対象としたオリエンテーションを実施しました。

「4つの留学生支援方針」「留学生履修プログラム」「修学・生活上の諸手続き」「宿舍入居の注意」「研究不正について」など留学生支援専門部会長や担当課職員から説明がありました。参加した留学生は熱心に耳を傾けていました。



外国につながる子供たちへの修学支援事業説明会



上越地域在住の外国人児童生徒を対象に、修学支援事業を実施しており、毎週月曜・火曜の放課後、本学学生と留学生が学習支援を行っています。

今年度は、4月12日(木)、17日(火)12時から、平成29年度報告と平成30年度活動説明、メンバー登録会を行いました。4月開始時に支援する児童生徒数は14名で、現在の本学学生登録者数は36名です。

メンバー登録は年間を通して随時行っています。



海外フィールド・スタディ報告会

平成29年2月17日～3月19日の1か月間、オーストラリアで授業参観、授業実践やホームステイ、シドニーで文化研修をした学生の報告会を行いました。

これは大学院の授業科目として行っているものです。

参加した坪井亮さん(英語、M2)は「ウェストミンスター校で4週間の授業の観察及び実践と学級のアシスタントをして来ました。準備には試行錯誤を繰り返しましたが、その分得られた物は大きかったと思います。」と感想を話していました。



海外教育(特別)(実践)研究E報告会



平成30年3月に1週間、台湾国立嘉義大学及び附属小学校で、文化研修や授業実践をした学生の報告会が行われました。

この海外教育(特別)(実践)研究Eは、学部、大学院の授業科目として行っているものです。学部生2名、大学院生7名と引率教員2名が参加しました。

報告会では、日本と台湾の教育の違いや台湾の小学校での授業参観や実践を通して学んだことなどの報告が行われました。

発行・お問い合わせ先

〒943-8512 新潟県上越市山屋敷町1番地 上越教育大学 国際交流推進センター「国際交流のひろば」
Tel:025-521-3666 (研究連携課 国際交流チーム)



国際交流のひろば



学長と4月入学留学生との懇談会

5月22日(火)12時から第2食堂において懇談会を実施し、学長、理事、留学生指導教員、国際交流推進センター関係教員と留学生、計20名が出席しました。

留学生の自己紹介に続き、学長からの歓迎と励ましの言葉があり、昼食をとりながら、和やかに懇談が行われました。

よろしくお祈いします!

4月に入学した留学生は中国6名、台湾1名、マレーシア1名、マラウイ1名の9名です。これにより、本学で学ぶ留学生の数は博士課程を含めると36名となりました。

アルフレッドさんに自己紹介をお願いしました。



教員研修留学生 インテンベヌゼニ・アルフレッド (マラウイ)

初めまして。私はアルフレッドです。マラウイから来ました。私は高校で地理を教えています。マラウイはアフリカの南にあります。マラウイから日本まで、飛行機で22時間位です。去年9月2日に日本へ来ました。上越教育大学に来る前、新潟大学で日本語を勉強しました。趣味はサッカーをすることとギターを弾くことです。

日本へ来る前、日本語を書くことと読むことはぜんぜんできませんでした。最初、日本の生活はちょっと大変でした。日本語と天気と食べ物は違うからです。でも、半年、日本に住んで、生活はおもしろくなりました。日本の好きな食べ物は、日本酒と焼き魚です。

1年間、どうぞよろしくお祈いします。



語学教室が始まりました

5月23日(水)12時から図書館情報交流ゾーンにおいて、中国語教室が始まりました。

中国出身の留学生が講師となり、学生、教職員14名が参加し、学校で外国人児童生徒を迎えた時にも使える簡単な表現や発音などを学んでいます。

参加目的は「留学生と話せるようになりたい」「グローバル化に対応できるようになりたい」「中国に行きたい」など様々です。この語学教室は全7回行う予定です。



発行・お問い合わせ先

〒943-8512 新潟県上越市山屋敷町1番地 上越教育大学 国際交流推進センター「国際交流のひろば」
Tel:025-521-3666 (研究連携課 国際交流チーム)



国際交流のひろば

留学生等の交通安全教室

7月6日(金) 12時00分から人104において、交通安全教室を実施しました。今年度1回目の交通安全教室では、自転車の交通ルールや道路での乗り方などについて学びました。

押木留学生支援専門部会長から実際に起こった事故の様子や気を付けるべき点などのお話があり、留学生は真剣な様子で聞いていました。

10月に上越警察署員をお招きし、秋の交通安全教室を開催する予定です。



国際交流七夕茶会

7月12日(木) 19時15分から大学会館第2集会室において、本学茶道クラブの国際交流七夕茶会に留学生が招待されました。郭可心さんから感想文を寄せてもらいました。



特別聴講学生 郭 可心(中国)

留学生のみんなと一緒に、茶道部が行った七夕茶会に参加しました。最初に先生たちが、お茶の歴史、茶碗の模様や飲み方などについて親切に説明しました。とてもいい勉強になりました。せっかくなので、みんなは紫陽花と似ている美味しいお菓子を食べて温かいお茶を飲みながら、色々話しました。留学生の孟さんと王さんは茶道部の部員として、複雑な手前をして本当に素晴らしいと思います。最後にみんなが自分の願いを紙に書き、笹の枝にかけました。日本へ来て初めての茶会ですから、忘れられない思い出になりました。

奨学金説明会

7月19日(木) 12時から人105において、私費外国人留学生を対象にした平成31年度各種奨学金に関する説明会を行いました。

学業・人物ともに優秀であり、経済的援助を必要とする外国人留学生に対し、修学を支援することを目的とした「ロータリー米山記念奨学金」「平和中島財団奨学金」等の募集や詳細について近藤留学生支援専門部会委員から、応募の仕方等について国際交流チーム主査から説明がありました。



留学説明会



7月26日(木)12時から音204において、日本人学生を対象に本学と協定を締結している海外の大学についての情報提供を目的とした留学説明会を開催しました。今回はカレル大学に留学していた家崎萌さんからの留学体験発表もあり、参加学生は留学をより身近に感じることができました。

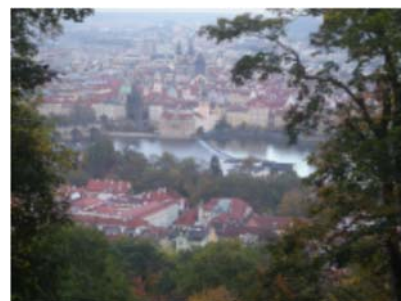
また、「JASSO海外留学支援制度(協定派遣)」「トビタテ!留学JAPAN日本代表プログラム」などの奨学金制度についても説明がありました。

カレル大学への派遣留学生の留学レポート

平成29年10月～30年7月まで、本学協定校であるチェコのカレル大学へ留学した家崎 萌さんから留学レポートが届きました。

美術コース 大学院2年 家崎萌

約9ヶ月半、カレル大学の交換留学生としてチェコ共和国プラハで勉強する貴重な機会をいただきました。プラハは中世からゴシック、アールヌーボーと歴史的な建築が市内によく残っている美しい街並みが有名です。世界で最も古い大学の一つであるカレル大学にはヨーロッパ中からたくさんの学生が交換留学生として来ていて、英語を中心にしたコミュニケーションの中でも、様々な文化背景の学生と接することができました。大学では美術教育コースの授業を中心に参加し、コンセプトについてのディスカッションなどに学生が積極的に発言する姿勢など日本との違いも感じました。



ヴィシェフラッドからのプラハの街

夏休みの宿題教室・勉強会

7月28日(土)9時30分から12時まで、人213、214、215において、夏休みの宿題教室を実施しました。これは、平成30年度「外国につながる子どもたち」への修学支援事業によるもので、上越地域在住の外国につながる子どもたちを対象に学習支援を行うものです。外国人留学生及び日本人学生14名が支援者として参加し、児童生徒13名が持参した夏休みの宿題の中で、一人では取り組むことが難しい部分を中心にサポートしました。

また同日、13時から16時まで、人205において、夏の勉強会「多様性を持って日本で生きるとは?—映画『HAFU』& Caféで語ろう—」を開催しました。第1部は『HAFU ハーフ』の映画上映会を行い、第2部は当事者である高校生と教職志望の大学生、多くの保護者に接してこられた研究者の方をゲストにお招きし、トークセッションを行いました。学外含め、第1部は37名、第2部は35名が勉強会に参加しました。



発行・お問い合わせ先

〒943-8512 新潟県上越市山屋敷町1番地 上越教育大学 国際交流推進センター「国際交流のひろば」
Tel:025-521-3666 (研究連携課 国際交流チーム)



国際交流のひろば

留学生の日本文化・歴史体験に関する研修

8月6日(月)新潟県南魚沼市において研修を行い、青木酒造、八海山酒造、鈴木牧之記念館、塩沢つむぎ記念館、三国街道塩沢宿牧之通りを見学しました。

この研修は、留学生に日本文化・歴史体験及び地域との交流、また日本人学生との交流の機会を提供することを目的に毎年行っています。賀語心さんに感想文を寄せてもらいました。



青木酒造・鶴齢雪室にて

大学院2年 グローバル・ICT・学習研究コース 賀語心(中国)

8月6日の朝、ワクワクした気持ちでバスツアーに参加しました。雨が降っているにもかかわらず、楽しい雰囲気の中で目的地に着きました。雪室、博物館、牧之通りなどを見学しましたが、印象的だったのは鶴齢の雪室と八海山雪室でした。今年の夏は特に暑く、35度の猛暑日の時、「冬は雪がこんなにいっぱい降るから、貯めて夏の日に使えるようになったらいいな」と考えたことがあったため、雪室を見学してとても驚きました。貯蔵室に入ったとたん、みんな「涼しい!」と言いました。雪の倉庫に入ると、温度はさらに下がり、「寒い、寒い」と言いながら写真を撮りました。こんな暑い日に雪を見ることができなんて、想像もできませんでした。職員の説明によると、雪室の温度は冷蔵庫のように下がったり、上がったりはせず、お酒や野菜、コーヒ豆を貯蔵すると、味がよりよくなるとのことでした。さらに、雪室は、自然の恵みを活用して電気代も節約できるなどのメリットがあります。それを聴いて、雪国に生活している人々の知恵を感じました。新潟は、冬になると雪で交通は不便になりますが、雪室を見学した後、雪も宝物になれることを実感しました。

短期外国人留学生成果発表会

8月21日(火)13時から人114において、平成29年10月～平成30年9月までの期間、本学協定校から交換留学生として学んでいる4名及び日本語・日本文化研修留学生2名が、1年間の日本での留学生活と本学での学習成果について発表しました。

発表後、内蒙古民族大学からの留学生、王鑫宇さん(中国)は、「皆は修了発表会に向かって頑張りました。緊張しましたが、無事に勉強の成果を発表できて良かったと思います。一年間の留学を通して、日本語を勉強したり、面白い活動を体験したり、自分は鍛えて大きく成長しました。日本文化にもっと深く触れました。また、周りの皆さんはよく親切に教えてくださっていっぱいの感動を収めました。上教大に留学できて良かったです。」と感想を話していました。



発行・お問い合わせ先

〒943-8512 新潟県上越市山屋敷町1番地 上越教育大学 国際交流推進センター「国際交流のひろば」
Tel:025-521-3666(研究連携課 国際交流チーム)



国際交流のひろば

短期外国人留学生修了証書授与式

9月4日(火) 13時30分から学長室にて短期外国人留学生修了証書授与式を執り行いました。

昨年10月から特別聴講学生として留学した中国協定校からの4名と日本語・日本文化研修留学生2名に、学長から修了証書が授与されました。



日本語・日本文化研修留学生 李 博麗 (中国)

2017年9月29日、私はハルビンから日本へやってきました。ハルビンとは違って、上越市の空気は海の匂いがあり、内陸の都市で育った私にとっては、とても斬新な感じでした。

一年が過ぎて、私もここでの生活に慣れるようになりました。人口がそれほど多くない上越市の独特の雰囲気にも慣れて、交通手段は主に自転車、又はバスであることも慣れました。最初は不便だと思ったことが、今の私にとって、それら全部が上越市の特徴だと思うようになりました。

この一年間の生活を通して、私は上越教育大学の皆さんの暖かさに感動しました。日本語が上手ではない私たちに対して、焦らずに私たちのわけのわからない日本語を聞いてくれて、そして熱心に接してくれて、本当に感謝の言葉しか浮かびません。授業中に私たちを気遣ってくれた先生もいて、休みの時一緒に遊ぼうって誘ってくれた日本人の方もいて、皆さんのお陰で、私たちは一日でも早く日本の生活に慣れました、本当にありがとうございました。

修了生からの手紙

平成30年3月に大学院修士課程(国語コース)を修了し、現在、中国の高校で日本語教師としてご活躍されている付 永亮さんからお手紙が届きました。

平成29年度大学院修了生 付 永亮 (中国)

皆さん、お元気ですか?今年の3月に上教大にお別れを告げた付永亮です。修了してもう五ヶ月経ち、早いなあと感じています。故郷、四川に戻って、新たな生活が始まりました。家族との再会、各地での就職活動、自動車学校の通学、顔の変な友達との遊びなどがありました。

私は8月下旬から、実家近くにある公立中学校(中高一貫)に高校教諭として勤めています。日本語を教える仕事ですので、日本で得た経験や知識を生かして響きのある教師になっていきたいです。今は新しい町で、平穏で楽しい毎日を送っていますが、いつも上越での日々を思い出します。高田の桜、日本海の夕陽、囀っていたカラスサロン、真っ白な風花などが頭の中に浮かんできています。もちろん、上越で出会った先生、友人などの優しい方々の笑顔も忘れません。またいつかお会いできるのを楽しみにしています。お元気で。



入職ガイダンスにて

発行・お問い合わせ先

〒943-8512 新潟県上越市山屋敷町1番地 上越教育大学 国際交流推進センター「国際交流のひろば」
Tel:025-521-3666 (研究連携課 国際交流チーム)



国際交流のひろば



留学生オリエンテーション

10月10日(水)12時から人104において、10月入学の留学生を対象にした留学生オリエンテーションを実施しました。

「4つの留学生支援方針」「履修プログラム」「チューター制度」「修学・生活上の諸手続き」「宿舎入居の注意」「論文・レポート作成時の注意」等について、押木留学生支援専門部長、研究連携課と学生支援課職員から説明がありました。

よろしくお祈いします!

10月に入学した留学生は中国8名、台湾1名の9名です。これにより、本学で学ぶ留学生の数は、博士課程を含めると37名となりました。

李さんに自己紹介をお願いしました。



日本語・日本文化研修留学生 李曉雪(中国)

中国の内モンゴルから来ました、しかし、モンゴル族ではありません。日本に留学する機会があって、心から感謝しています。この度教科書の日本を自ら体験することができます。今まで日本に来てもう2週間ぐらいです。私の目の日本は綺麗で、静かで、秩序があります。ユニークな建物、綺麗な景色、どこでも行って写真を撮りたいです。東京のような人と車の多い大都市でさえ、いつでも秩序があり列に並んでいます。また、日本の街がこんなに綺麗になったのは、ゴミの分類のことがいからです。今私も毎日ゴミの分類をして、面白いです。それから、日本人がとても親切で、礼儀があると思います。一人でこの知らない地方に来たばかりで、どこにも見つからなかった時、重い物を持っていたお姉さんは私を連れて、新幹線の駅を見つけた。あの時に心が暖かかった。日本で楽しんでいることはいろいろあります。一番楽しみたいのは、桜が咲く頃に和服を着て、桜を鑑賞することです。その時にはたくさんの写真を撮って、家族に見せようと思います。今思っているだけで楽しいです。本当に待ちきれないよ。



留学生等の交通安全教室

10月24日(水)16時から大会議室において交通安全教室を実施し、留学生、日本人学生、教職員等36名が出席しました。近藤留学生支援専門部会委員が司会進行し、押木部会長の挨拶の後、上越警察署交通課及び警備課職員による自転車を中心とした交通安全指導や身近な犯罪のお話し、特殊なメガネを掛けてお酒に酔った状態で歩く時の体験などがあり、参加者は熱心に耳を傾けていました。



発行・お問い合わせ先

〒943-8512 新潟県上越市山屋敷町1番地 上越教育大学 国際交流推進センター「国際交流のひろば」
Tel:025-521-3666 (研究連携課 国際交流チーム)



国際交流のひろば

「海外との研究交流事業」の取り組み紹介

社会系教育実践コースの志村 喬 教授から、イギリスの教科教員養成研究者を招聘した際の寄稿をいただきましたので紹介します。

2018年10月28日から一週間、本学の国際交流事業の一環として、イギリスのノッティンガム大学教育学部で教科教員養成（地理）を担当するメリー・ビダフ（Mary Biddulph）博士を招聘しました。ビダフ博士は、イギリスの地理教育学会会長を2016-17年務める研究者で、英国内外の学会・国際プロジェクト研究で志村と交流があり、今回実現しました。本学滞在中は教員養成制度改革に関する日英相互の研究情報交換、地域の小・中・高校及び本学の授業観察、今後の国際共同研究計画検討を行いました。

特に、10月31日には「イングランドにおける教師教育改革とその地理学修への影響」と題されたイギリスの教員養成改革に関する公開講演会が開催されました。本学教員・大学院生・在京の教員養成研究者といった30名以上が参加し、イギリスの教員養成実態に関する最先端の情報交換・質疑がなされました。



平成30年度留学生が語る／留学生と語る会



直江津の二段坂にて

11月7日(水)13時から直江津市街地、うみがたり、屋台会館において、留学生に対する理解や関心を高め、異文化理解マインドを育て、留学生が自国の紹介などを行い、留学生と語り合う機会を提供することを目的に、留学生が語る／留学生と語る会を開催し、市民、学生、教職員など33名が参加しました。

今回は、『うみがたり・ものがたりー直江津まちあるきと水族博物館バックヤードツアー』をテーマに、第一部はまちあるき、第二部は水族博物館見学、第三部は留学生によるマラウイと中国の紹介と意見交流をしました。

学長と10月入学留学生との懇談

11月15日(木)12時から第二食堂において10月入学の留学生を対象とした学長との懇談会を実施しました。

学長、理事、留学生指導教員、国際交流推進センター委員と留学生が出席しました。藤谷国際交流推進センター専任教員の進行で、留学生の自己紹介、学長からの歓迎と励ましの言葉があり、昼食をとりながら日本での留学生活や出身国の話、本学での勉強や感想など和やかに懇談が行われました。



発行・お問い合わせ先

〒943-8512 新潟県上越市山屋敷町1番地 上越教育大学 国際交流推進センター「国際交流のひろば」
Tel:025-521-3666（研究連携課 国際交流チーム）

国際交流のひろば

「海外との研究交流事業」の取り組み紹介

自然系教育実践コース（理科）の古屋光一 教授から、海外との研究交流事業の寄稿をいただきましたので紹介します。

2018年11月11日から11月17日まで、ニューヨーク州立大学バッファロー大学（University at Buffalo, アメリカには国立大学がありません。NY州立大学で最大の大学です。）で理科教育を専門とするノエミ・ウエイト博士（大学院准教授）が上越教育大学に来ました。

日本の理科の先生方が探究学習についてどのような考えを持っているか、アメリカの理科の先生はどうか、共通の部分や異なる部分があるかもしれないと思い、私たちは協働で調査を始めています。また、11月14日の夕方、学部生・大学院生でアメリカの理科教育に興味を持っている学生さん達を対象に、講演をして下さいました。内容はアメリカの学習指導要領（これはNGSSと呼ばれます）の特徴、ニューヨーク州立大学バッファロー大学での教員養成の様子（この大学では28歳にならないと本免許を取ることができない制度）、そしてノエミ先生が研究している内容についての講演でした。発表後、学生さん達の積極的な質問に答えながら、「とても良い質問がいっぱい」と喜んでいらっしました。これからも共同研究を続けていきます。



ノエミ先生（本学の中庭にて）



アメリカの理科教育について（講演後）

海外教育(特別)(実践)研究C(韓国)報告会

12月6日（木）12時から人207において、「海外教育(特別)(実践)研究C(韓国)」の報告会を行いました。平成30年9月12日～19日の8日間、本学大学院生5名と引率教員2名が、韓国教員大学校を訪問し、附属小学校で授業実践を行いました。また、文化研修やソウル新龍山小学校での授業実践等も実施しました。報告会では、実習で得た学びや経験など、韓国で充実した時間を過ごしてきたことについて、参加学生が報告しました。



報告会



韓国教員大学校にて（9月）



世界を語ろう!

12月5日から全3回、水曜日のランチタイムに「世界を語ろう!」を行いました。留学生交流プラザに留学生、日本人学生、教職員が集まり、世界の文化、生活、言葉などについて一緒におしゃべりしながら交流しました。

今年度は、アルフレッドさん(マラウイ)、陳沛羽さん、謝承志さん(台湾)、井関貴博さん(M3、日本)が語り手となり、参加者と一緒に、和気あいあいと語り合う和やかな時間となりました。



12/5 The warm heart of Africa -MALAWI-



12/12 台湾いろいろー歡迎來臺灣ー



12/19 チャモロダンスとグアムの図書館の紹介



外国人留学生との意見交換会

12月12日(水) 16時30分から人113において、外国人留学生との意見交換会を実施し、留学生、チューター、教職員など41名が出席しました。近藤留学生支援専門部会委員が司会進行し、小グループごとに意見交換をしました。

留学生からは、日頃の悩みや考えていることの見解・要望が出され、アドバイスや解決方法などが話し合われました。この会で得た意見は、今後の留学生支援につなげていきます。



外国につながる子どもたちへの修学支援事業 「冬休みの宿題教室」「冬の勉強会」



12月22日(土) 9時30分から「冬休みの宿題教室」を実施し、留学生及び日本人学生18名が支援者として、外国につながる児童生徒17名が持参した冬休みの宿題の学習支援を行いました。また、13時から「外国につながる子どもたちの教育に関する冬の勉強会ー私の試行錯誤ー」を行いました。留学生及び日本人学生、上越国際交流協会の職員や日本語支援員の方々との意見交換を通じ、支援の工夫の糸口を見つける機会となりました。

発行・お問い合わせ先

〒943-8512 新潟県上越市山屋敷町1番地 上越教育大学 国際交流推進センター「国際交流のひろば」
Tel:025-521-3666 (研究連携課 国際交流チーム)



国際交流のひろば



台湾・国立嘉義大学の来訪



1月20日(日)～30日(水)まで、本学交流協定校である台湾・国立嘉義大学から教職員4人と学部生・大学院生8人の計12人の訪問団が来訪しました。

約11日間に渡り、本学や附属学校での交流、スキー体験など、様々な交流プログラムを行いました。

- 1/20(日) 上越に到着
- 21(月) 開講式
歓迎交流会
- 22(火) 附属中学校 交流活動
- 23(水)～24日(木)
安塚キューピットバレイにて
スキー講習
- 25(金) 附属小学校 参観
- 26(土)～27(日)
長野市、上越市 散策
- 28(月) 市内見学
・妙高酒造
・高橋孫左衛門商店
・岩の原葡萄園
・釜蓋遺跡 等
- 29(火) 附属幼稚園 参観
本学学生との交流活動
閉講式
お別れ会
- 30(水) 上越を出発



開講式

スキー講習



買い物バス—ありがとうございました—



冬の買い物について、雪が積もったりした場合、買い物に行くのが不便であるため、留学生から買物のためのバスを出してほしいという意見があり、これを受けて、大学のバスを利用し、買い物に行く機会を設けました。

買い物バスを利用した邱靖森さん(中国)は「冬は雪が降ると、買い物はとても大変です。どうやって買い物に行くか心配です。大学がバスを出してくれて本当に感謝します。ありがとうございます。」と話していました。

今年度は雪の具合を見て、1月～3月上旬に3回程度、実施する予定です。

発行・お問い合わせ先

〒943-8512 新潟県上越市山屋敷町1番地 上越教育大学 国際交流推進センター「国際交流のひろば」
Tel:025-521-3666 (研究連携課 国際交流チーム)



国際交流のひろば

短期留学生の小学校授業参観

2月6日(水)大手町小学校において、短期外国人留学生及び大学院生11名が授業参観をしました。これは海外の協定校からの短期留学生及び日本語・日本文化研修留学生に母国の教育制度と比較し、日本の教育事情を理解してもらうことを目的として実施しているものです。

留学生は4～6年生の児童と英語でコミュニケーションしたり、小学生の発表を聞いて、感想等を話し合いました。



平成30年度留学生成果発表会

2月19日(火)13時30分から人113において、平成30年度外国人留学生成果発表会を開催しました。

発表者は3月修了予定のンテンベヌゼニ・アルフレッドさん(マラウイ、教育臨床・教育経営、教員研修留学生)と賀語心さん(中国、グローバルICT・学習研究、M2)です。

それぞれ、日本での生活と本学で取り組んだ研究の成果について、発表しました。



平成30年度留学生スキーのつどい



2月26日(火)～27日(水)上越市安塚区のキューピットバレイスキー場において、留学生スキーのつどいを実施しました。スキー発祥の地である上越の地域性を生かし、留学生がスキーを体験するとともに、スキー実習を通して、留学生相互及び教職員・学生との親睦を図ることを目的として実施しています。初めてスキーを体験した白嘎力さん(中国)から感想文を寄せてもらいました。



社会系コース 大学院1年 白嘎力(中国)

今回、私にとって初めてのスキー体験でした。中国内モンゴにある私の実家は、雪が降らないし、山も少ないので、スキー場がありません。この2日間は、実に楽しかったです。行く前はちょっと体験してみようという気持ちでした。ある意味ではそんなに期待していませんでした。スキーというスポーツは短時間で習得できるものではないという認識だったからです。でも実際に体験してみると、入門としては意外に簡単で、楽しめるものでした。また、スキー場の食事も美味しく、ゆきだるま温泉も良くて、贅沢な2日間を過ごすことができました。



発行・お問い合わせ先

〒943-8512 新潟県上越市山屋敷町1番地 上越教育大学 国際交流推進センター「国際交流のひろば」
Tel:025-521-3666(研究連携課 国際交流チーム)



国際交流のひろば



平成30年度上越教育大学国際交流のつどい

3月5日（火）16時30分から本学第一食堂において、平成30年度上越教育大学国際交流のつどいを開催しました。

上越市、上越国際交流協会、近郊のロータリークラブ、上越青年会議所、本学振興協力会など、日ごろ交流のある地域団体の方々と本学教職員、留学生、チューターなど約80人の参加がありました。この会は、日頃より本学の国際交流活動、また外国人留学生に対し、ご支援いただいている地域の方々と本学教職員等が意見交換を行い、国際交流の推進に役立てるとともに相互の親睦を深めることが目的です。

第一部では本学の国際交流の現状及び留学生の体験発表があり、第二部の外国人留学生との懇談会では、留学生と関わりのある多くの方からご意見をいただき、また留学生による出身地の紹介を行うなど、交流を深める有意義な時間となりました。



第一部
体験発表等



第二部
懇談会

平成30年度教員研修留学生修了証書授与式



3月15日（金）15時から学長室にて、昨年4月から教員研修留学生として留学したンテンベヌゼニ・アルフレッドさん（マラウイ）に修了証書が授与されました。

アルフレッドさんは「上越教育大学で勉強できたことに感謝します。私を受け入れてくださった菅原先生にも感謝しています。日本は美しいです。人々は親切で食べ物おいしいです。私は日本の生活が大好きなので、またいつか戻りたいです。」とお礼の挨拶をしました。

1年間の留学を無事に終え、ほっとした様子で3月末に帰国されました。

修了留学生への記念品贈呈式

3月15日（金）15時15分から学長室にて、3月に修了する大学院生10名に対し、学長から記念品が贈呈されました。修了生を代表して、張揺さん（中国）は「先生方のおかげで、大変楽しく充実した3年間を過ごすことができました。ここで学んだ知識や経験を生かして、立派な社会人になれるよう頑張ります。」とお礼の言葉を述べました。



発行・お問い合わせ先

〒943-8512 新潟県上越市山屋敷町1番地 上越教育大学 国際交流推進センター「国際交流のひろば」
Tel:025-521-3666（研究連携課 国際交流チーム）